

## 一貫5年進路講演会

平成30年12月15日（土）、一貫5年生に向けて進路講演会が開かれました。講師の山内太地氏は全国すべての大学を巡った大学研究者として有名で、最近海外の大学も訪問取材するなど活躍の幅を広げています。

山内氏の軽妙な語り口は生徒にも教員にも好評で、今までに計5回、本校の5年生に向けて講演を聴かせていただいています。今回の講演は、いよいよ受験の年となる43名に向けて「能動的な学習」の大切さを強く訴えかける内容でした。

大学に合格した後、それまで受動的な学習をしてきた大学生は勉強をしなくなります。自ら疑問を持ち、解決しようとする人でなければ大学に進む意味はありません。講演の中で“やらされる勉強ではなく自分から進んでやる勉強は楽しい”“大学であなただけのスキルを身につけることができる”“合格したつもりで勉強すること”などモチベーションが上がる声かけをたくさんしていただき、講演後の生徒の感想には「15分勉強法から始めてみようと思った」「海外の大学も選択肢に入れたい」「目標を掲示してやる気を高めたい」といった前向きなことばが並びました。

海外の大学は学問のオリンピック。違う文化圏に留学するのも良い。  
あなたたちと一緒に働いたり、あなたたちの取引の相手になるのは世界の人々。



「自分から進んでやること」は楽しい。  
人工知能（AI）は敵ではなく共存するもの。  
あなただけのスキルを大学までに身につけよう！



集中できるのは15分。それを繰り返し積み重ねる。  
帰ったら制服を着たまま机に向かう。  
自己実現した自分をイメージする。  
「やらされる勉強」では学力はつかない。  
講演、ありがとうございました。